

| | | | |
|----------------|---|------|------|
| 科目ナンバー | SOC-A-2-20 | | |
| 科目名 | 地域社会学 | | |
| 担当者 | 土居 洋平 | | |
| 開講期 | 2021年度 春学期 | 科目区分 | 週間授業 |
| 履修開始年次 | 1 | 単位数 | 2.0 |
| 曜日/時限 | 金曜4限 | 教室 | |
| 授業題目 | 地域社会と地域社会学への招待～地域社会の構造と変化を探る～ | | |
| 授業の達成目標 | <p>地域・地域社会・コミュニティ・地域の集団と組織について、その概念を説明できる。</p> <p>地域社会の編成に関わる主要な論点(都市化・過疎化・グローバル化等)を説明できる。</p> <p>地域社会の現代的な課題について、その特徴と課題を説明できる。</p> <p>地域社会との関わり方について、その手法と特徴を説明できる。</p> | | |
| 今年度の授業内容 | <p>この講義では、まず、地域社会に関する主要な概念である、地域、地域社会、コミュニティ、町内会・自治会など地域社会に関わる基本的な用語を解説する。その後、地域社会の様々な変化～都市化、過疎化、グローバル化、自治のあり方の変化～を解説する。そのうえで、地域社会を巡る様々な論点～少子化・子育て、高齢化・介護、防災・災害復興、地域の消費、担い手～について現況を解説し、その課題について主体的に考える。最後に、そうした課題への理解を踏まえ、地域社会に関わる手法を身につける。</p> | | |
| 自習に関する一般的な指示事項 | <p>講義の前半は、地域社会の概念と地域社会の編成に関わる主要な論点を紹介する。教室外で関連の文献にあたり、概念や論点への理解を深めることを期待する。後半は、地域社会の現代的な課題を扱う。各回の最後に関連の論点を紹介するので、それについて調べ、考察を深めることを望む。</p> | | |
| 授業スケジュール | | | |
| 第1回 | 講義ガイダンス:講義で扱うテーマや到達目標の解説/グループワーク「地域とは何か？」 | | |
| 第2回 | 概説(1):地域という概念/地域社会とコミュニティ/地域の集団と組織 | | |
| 第3回 | 概説(2):農村―都市の社会学から地域社会学へ/地域社会と地域社会学 | | |
| 第4回 | 地域社会の編成(1):近代の到来と都市化・地域社会の変化 | | |
| 第5回 | 地域社会の編成(2):過疎化と地域社会の変化 | | |
| 第6回 | 地域社会の編成(3):グローバル化と地域社会の変化 | | |
| 第7回 | 地域社会の編成(4):新しい時代の地域社会の自治 | | |
| 第8回 | 地域社会の現代的課題(1):少子化・子育てと地域社会 | | |
| 第9回 | 地域社会の現代的課題(2):高齢化・介護と地域社会 | | |
| 第10回 | 地域社会の現代的課題(3):防災・災害復興と地域社会 | | |
| 第11回 | 地域社会の現代的課題(4):画一化と差別化・商品化/消費される地域社会 | | |
| 第12回 | 地域社会の現代的課題(5):地域の担い手/地域社会は誰のものなのか？ | | |
| 第13回 | 地域社会に関わる(1):地域社会でフィールドワークをすること | | |
| 第14回 | 地域社会に関わる(2):地域社会に入るリテラシー | | |
| 第15回 | 地域社会に関わる(3):地域社会と地域づくり/学生が地域社会に関わる意義 | | |
| 授業の運営方法 | <p>この授業は、大学の方針(奇数/偶数別登校)に従い、ハイフレックス式(対面+オンラインの組み合わせ)で行います。</p> <p>学生の皆さんは、登校する週の授業は、対面授業に参加ください。非登校週の授業は、Teamsで中継される授業を視聴ください。</p> <p>なお、Teamsの授業は録画します。授業後、授業で映写した資料(パワーポイントや板書データ)と映像・音声ファイルをTeamsにて配信します。復習等に活用してください。</p> <p>履修者は、Teamsの「チームに参加」の「コードでチームに参加する」のチームコード欄に「vq5worv」と入力し、この授業のチーム(金4(春)地域社会学(2021年度開講))に参加ください。</p> <p>授業後、翌日23:59締切の小レポートを課します。小レポートも、Teams内の「課題」機能を用いて実施します。詳細は、授業にて指示します。なお、小レポート提出をもって出席とみなします。</p> <p>※ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、上記と異なる運営方法になる可能性があります。そ</p> | | |

| | | |
|--------------------------------------|--|--|
| | の際は、授業で指示しますので、その指示に従ってください。 | |
| 成績評価の方法 ※次の評価基準・割合に基づき評価されます。 | | |
| 評価の種類 | 割合(%) | 評価基準、評価方法 |
| 定期試験 | 0 | 実施しない。 |
| 小論文・レポート | 40 | 評価方法: 学期末のレポート 評価基準: 授業の達成目標を満たしているか |
| 授業参加 | 60 | 評価方法: 毎回授業時実施の小レポート 評価基準: 授業内容の理解度/自説主張の論理性 |
| その他 | | |
| テキスト | | |
| 参考文献 | 授業各回で関連する文献を指示しますが、全体を通じては、以下の本を参考にしてください。 地域社会学会編2011『新版 キーワード地域社会学』ハーベスト社 (ISBN: 978-4-86339-028-7) | |
| 関連ページ | | |
| その他、履修生への注意事項 | この授業は、受講生の皆さんに問いかけ、可能な限り対話しながら進めます。受講生の皆さんには、常に授業に真剣に向き合い、主体的に思考をすることを望みます。 | |
| 実務経験のある教員による授業科目(令和2年度から該当科目に記載されます) | | |
| 実務経験の概要 | | |
| 実務経験と授業科目との関連性 | | |